電業員組合機關紙

毎月一回五日發行　非賣品　組合員無代頒布
印刷兼編輯發行人　堺市寺地町二　佐藤安太郎
印刷所　大阪市南區櫻川二ノ一八五　大阪印刷工組合印刷部
發行所　大阪市南區難波河原町一丁目一五四二ノ九　電業員組合本部

一九二一年と、共に癈刊さるゝ本紙を送る

我國の勞働運動未曾有の多事なりし一九二一年は正に逝かんとしております。

將來に希望の法悅を伴ひ乍らも過去に追憶の悲しみを有する事は恐らく私共、共通の情意でありましよう。來る可き新しき一九二二年は必然的に私共の希望に滿ちた年であらうのに、私共は今正に逝かんとする一九二一年の記錄に追憶の悲しみなくして別るゝ事は出來ません。

一九二一年は、ほんとうに多くの重大事件が私共の前に提供されました。取り分け勞働運動はその最も重大なもので、私共はこれに依つて如何に多量の刺戟強き空氣を呼吸

私共電業員組合は今此の意義深き一九二一年に別れを惜しむと共に本月本號を以つて癈刊さるゝ本紙に堪へ難き追憶の悲しみを感せずには居られません。

それは明春より新たに機關新聞として「改造新聞」の發刊さるゝ法悅の結果とは云ふものゝ!

顧みれば昨年五月本紙が呱呱の聲を擧げて以來覺束なき筆の運びに想ひを托し早や、二十の月を閲し、十四の號を重ねてまゐりました。されど其の間常に未成品であつた本紙の事とて別に晴れ〴〵と着飾る事は出來ませんでした。が然し少くとも私共は素朴なる眞實の想ひ丈けは崩さなかつた事を確信致して居ります。この素朴なる眞實の裝ひこそ勞働組合の機關紙たる本紙の生命にして、市中凡百の營利的刊行物と其の趣を異にしておる所であると思ひましたが故に愈々別れねばならぬ時が來ました。

さらば一九二一年よ!! 本紙よ!! 私共は堪へ難き追憶の悲しみに、又への別れを告げましよう。（中村生）

指導者論（二）

工友支部　森田生

此の事實は我々が在來度々見た所である。けれども之が單なる賃銀値上問題や、待遇改善問題の爲の運動である場合には尚吾々は忍び易いが、一旦大問題に當面してこの狀態であつたとしたらどうであらう?。

思ひ起す、千八百七十一年の巴里コムミユンの狀態を。勞働者は明かに革命舞臺の主人公なり得た。彼れは初めて其の演技の主役を演すべき地位に置かれた。而かもブランキーなる指導者を失つた追從者たりし勞働者はブランキーを取り返す事と、他に指導者を求める事との外の何事も爲し得なかつたのである。

彼の地位はかうした徒日の中に何時かブルヂヨアーの革命の道具となり終つていたのであつた。

然らば吾々は階級爭闘の一形態としての勞働運動に如何なる戰術を選ぶべきか、勿論其の戰術の一ならざるべきは明白な事である。時に應じては正攻法に依り、機に臨んでは奇襲を行ふ之れ兵家の常一樣ならずと云へ共、少くとも吾々は在來の圓陣運動より、縱陣運動、或は橫陣運動に陣形を變するの緊要なるを思はずに居られない。

而らば陣形を變せし後の所謂指導者の地位如何と云ふに、之こそ私が最初から問題にして居つた處であつて、私の意見としては特に指導者と云ふ者の必要を見ないのである。勿論縱陣運動に於ても、橫陣運動に於ても、其の運動當事者の全部より、或は多數より選ばれたる人が運動の先登に立つて行く事は有る、而し之は指導者として、或は團体運動の換言すれば勞働者軍の司令官としての任務を果さんが爲の行爲では決してない。私は特に此の點に關して諸君の充分なる考慮を費されん事を希望して止まない。

さすれば此の選ばれたる先登者は何者かと云ふにそれは吾々勞働者軍の旗手であり、ラツパ手である。此の旗手は豫め勞働者軍の全員より、時として大部分の者より定められたる任務の最大限の上に出する事を許されない。在來の所謂指導者の如く專斷的行爲を少くとも重要なる事項に對しては許されない。けれども此の「重要」と云ふ文字の解釋に依つては問題が起らぬでもない。旗手たちは或る問題に對して重要でないと認め處事したるに反し、全部の、或は全部に近き大多數の反對のあつた場合には如何すべきやと云ふに其の場合には其の問題を取消し得るの保留的態度を以て處事すべきである。

選ばれたるラツパ手は尚一層の嚴格なる規律を自ら常に保持せしむべく或は絕えず軍の緊張味を失はざらんが爲に時々其の托されたるラツパを吹奏して注意するのである。

此の場合若し誤ひて指導者と云ふ言葉を使はんとするならば、其の指導者は旗手でもなければ、將た又、ラツパ手でもない。反て全部の者なのである。旗手や、ラツパ手は之等全部の指導者の命令の下に行動するのである。

故に「吾々全部は吾々全部の指導者である」と云ひ得る。

只吾々がこうした旗手やラツパ手を選ぶのは一軍の行動を便ならしめんが爲である。吾々の行動をより嚴粛ならしめんが爲めである。吾々の主觀を客觀化して、見て以てより創造的たらしめんが爲めである。

故に或る行動の途上旗手なり、ラツパ手なりが倒れた場合や負傷した場合には吾々は躊躇なく、第二、第三、第四と次々の旗手なりラツパ手なりを選び出す。

だから私は敢て云ふ。

勞働運動に特に所謂指導者なるものを要しないと。

（以下次號）

告!!!

自由なる可き言論に煩き制限を受け來りし本紙は本月、本號を以つて癈刊し、明年一月より比較的この煩瑣の解除されたる新聞紙法に依り『改造新聞』を發刊す。

組合の活動

◎本部

○第四回理事會　十一月十二日本部樓上に於て理事會開催組合發展に關する件、新聞紙に關する件に就き協議す。

○向上會三周年大會　十一月十三日中央公會堂に於て向上會三周年大會開催され我組合を代表して村井組合長祝辭を朗讀した。

○茶話會　十一月十四日本部樓上に於て法學士丸岡重堯氏を招き「米國勞働組合の現狀」に就き有益なる講演あり終つて組合員の自由質問に入り散會十時半。

○第五回理事會　十一月二十九日午後七時より本部樓上に於て理事會開催新聞紙による機關新聞發刊に就き具体的の協議をなす。

○第二回代議員會　十二月二日午後六時より高津支部樓上に於て代議員會開催左記の件を議定した。

一、新聞紙發行所に關する件

一、發行所兼印刷人は堺市に置く事とし佐藤安太郎氏とす。

編輯人は中村義明氏とす。

新聞社組織は理事者に一任とす。

廣告料の件は原案通り可決

發行月日は毎月五日とす。

代價は一部五錢とし組合員には無代頒布するものとす

代議員會散會後直に緊急理事會を開催村井組合長木村常務理事より半期賞與に關する件につき詳細なる經過報告あり十一時散會す。

◎中之島支部

十一月十七日午後五時より支部役員總會開催機關紙に關する件につき協議し終つて山端支部長より諸般の報告あり八時散會。

十一月二日修理掛岡龜三郎君病氣療養中之處藥石効なく遂に死去さる哀悼の至りに耐へず。

十二月一日評議員中村準次山本拓士両君は入營につき退社された折角自重を祈る。

◎高津支部

十一月四日午後五時半より高津支部樓上に於て演說會開催辯士二十余名に上る盛會裡に九時半散會。

十一月二十三日午前九時より高津支部樓上に於て修繕係を中心とする演說會を開催し左記の諸氏熱辯を揮ひ盛會であつた。

所感　石川惣四郎
吾人と社會　吉本鍋男
勞資は車の両輪　奥上榮一
自己の体面を維持　三好勸平
自己に目覺めて　糸島保
自覺の虫　大黑德松
新聞紙に就て　平岡雄四郎
萬國の勞働者團結せよ　中田力松
眞の文明と無產階級　石川惣四郎
所感　酒井宗三郎
食ふために働く今日の勞働者　遠藤安一
勞働と資本　山崎米造
村井清五良